

民間主導で活性化を

水戸市中心市街地再生プロジェクト発足

水戸市の中心市街地を民間主導で活性化しようと、42の企業や団体の代表でつくる「水戸どまんなか再生プロジェクト」(堀義人座長)が8日、発足し、同市三の丸の三の丸ホテルで第1回会議が開かれた。年内に全5回の会議を開き、11月の最終会議で中心街活性化



第1回会議であいさつする堀義人座長=水戸市三の丸

化につながる具体的な計画の発案を目指す。発案後はプロジェクトメンバーの企業が中心となって計画を実行に移す方針だ。

プロジェクトは、水戸市出身でグロービス経営大学院(東京)の学長を務める堀座長が呼び掛け、県内外の民間企業が中心となって発足した。

この日の会議では、プロジェクトの方針や今後の会議の日程などを確認。求心力ある都市空間▽便利で楽しい歩く街▽新陳代謝のある元気な商店街▽新しいチャレンジが生まれる街▽テーマパーク都